

③ 高島方面の再編

再編パターン③

実施計画P18抜粋

■ 対象路線

	区間	運行
路線①	旭川荘～天満屋・岡山駅	両備
路線②	旭川荘～新屋敷団地高島駅前	

■ 現状

- 路線①②ともに多くの利用者が旭川荘の施設利用者であるため、現在は、朝夕のピーク時間帯を中心としたダイヤ設定となっている
- 路線②の1便あたりの利用者数は9人/未満であり、小型車両で対応できる規模の需要となっている
- 高島駅は、便数も多く、市内33駅の中で7番目に利用が多い駅であるが、オフピーク時間帯に関しては、高島地区から高島駅に接続する路線バスがない状況

■ 再編の内容

- 都心との間をつなぐ路線（鉄道・路線①含む）を幹線とし、路線②を支線とする
- 支線は、現在朝夕ピーク時間帯での運行となっているため、オフピーク時間帯で増便し、利便性を高める
- 支線の増便にあたっては、JR山陽本線及び津山線を幹線とし、高島駅（JR山陽本線）と備前原駅（JR津山線）の駅間をつなぐ路線を新設することで、鉄道の利用促進を図るとともに、旭川の東西の輸送サービスを確保する
- 高島駅でJRからバスに乗り継ぐ場合、現在は道路を横断し、狭い歩道で待つ必要があるが、再編後は、駅舎側のバス停で支線に乗車できるよう運行経路を変更することで、乗り継ぎ環境の向上を図る



(出典)国土地理院図をもとに岡山市作成

< 現 状 >

小バ：小型バス(例：ボンチョ) ●：乗り継ぎポイント
 乗用：乗用車(例：ハイエース) ●：主な生活関連施設
 ※各路線の便数は括弧内に記載（平日の往復合計）



< 再編後 >



④ 西大寺(東山)方面の再編

再編パターン①②

実施計画P19抜粋

■ 対象路線

	区間	運行
路線①	西大寺バスセンター～東山～岡山駅	両備
路線②	新橋～岡山駅～新橋	八晃
路線③	操南台団地西～東山～岡山駅	両備
路線④	操南台団地西～東山～山陽学園中学・高校前	
路線⑤	操南台団地西～池の内・東山～岡山駅	

■ 現状

- 路線②～④の収支率はいずれも50%未満と低く、また、路線①と多くの区間で重複している
- 路線③～⑤は、操南台団地～東山間の平均乗車人数は9人/便未満であり、小型車両で対応できる規模の需要
- 東山～岡山駅間は、特に朝夕ピーク時において、路面電車の方が速達性に優れており、路線バス利用者の約3割が路面電車と乗り換えているが、バス停と電停が離れており、接続していない状況

■ 再編の内容

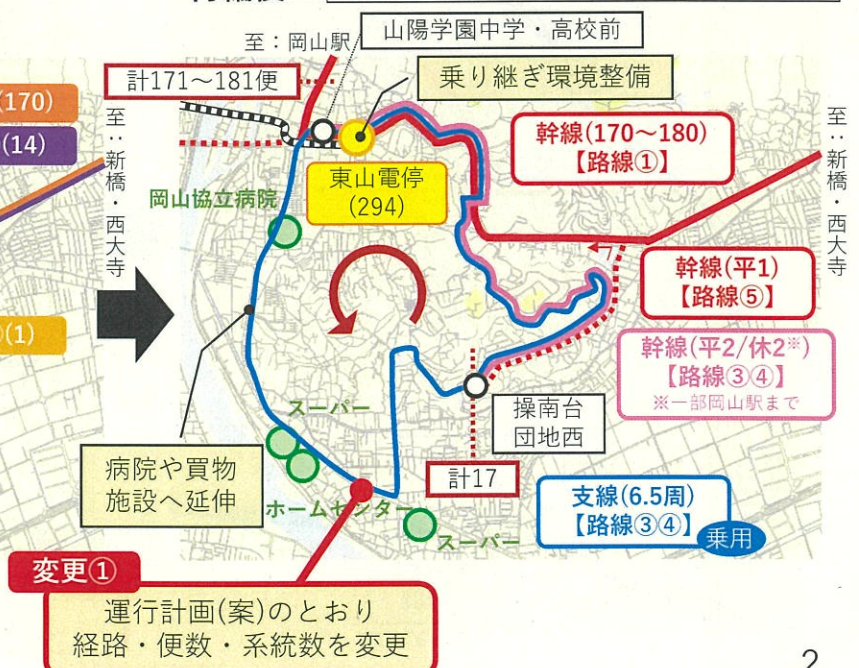
- 便数が多く、より広域に運行する西大寺～都心間の路線や路面電車を幹線とする
- 幹線は、重複する路線②を集約し、収支率の改善を図るとともに、生み出された供給力を他地域に配分する
- 路線③・④は、利用の多い朝夕ピーク時間帯は操南台団地西～山陽学園中学・高校前間の幹線とし、利用の少ないオフピーク時間帯は地域内を循環する支線とする
- 支線は、再編で生み出された供給力を活用し、岡山協立病院や商業施設まで延伸し、利便性向上を図る
- 支線の運行車両は、需要を踏まえて小型化することで、乗務員の普通2種免許での対応を可能とする
- 朝夕ピーク時の道路渋滞の影響で、東山～都心間の移動については路面電車の方が速達性に優れているため、支線を含む路線バスと路面電車の安全かつスムーズな乗り継ぎが可能となるよう、東山において乗り継ぎ拠点の整備を検討する

小バ：小型バス(例：ポンチョ) ●：乗り継ぎポイント
 乗用：乗用車(例：ハイエース) ●：主な生活関連施設
 ※各路線の便数は括弧内に記載(平日の往復合計)

<現 状>



<再編後>



⑩ 拠点間をつなぐ支線の新設

再編パターン①③

実施計画P29抜粋

■ 現状

- 岡山市の公共交通は、岡山駅を中心とする放射状のネットワークとなっており、周辺部の都市拠点・地域拠点間を移動する場合は、都心を経由する必要がある
- 特に、妹尾地区や芳泉地区を中心にみると、大型商業施設や総合病院が立地する都市拠点の北長瀬地区と岡南地区の間に位置しているが、公共交通で移動する場合、岡山駅を経由する必要がある

■ 再編の内容

- 岡山市が目指す将来の都市の形である「コンパクトでネットワーク化された都市構造（マスカット型都市構造）」の拠点である岡南・北長瀬・妹尾・芳泉をつなぐ支線を新設する。
- 支線は、拠点間に点在する身近な生活関連施設に接続させるだけでなく、各方面の鉄道駅及び幹線バスに接続することで、都心と身近な拠点への公共交通アクセシビリティの向上を図る。

<再編後>



(出典)国土地理院図をもとに岡山市作成

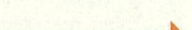
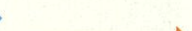
2-4. 事業の実施主体と実施スケジュール

実施計画P32抜粋

本計画に位置付けた各方面の路線再編及びその他の事業の実施予定時期は以下のとおりです。

■ 事業の実施主体と実施スケジュール

 : 準備期間（詳細検討、車両調達、乗り継ぎ環境整備）
 : 実施、運行開始

		実施主体	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
事業1 公共交通 ネットワークの 階層化に向けた 路線再編	① 変更点 支線の運行開始を前倒し						
	②津高方面	岡山市・中鉄・岡電					
	③高島方面	岡山市・両備					
	④西大寺方面	岡山市・ 岡電・両備・八晃					
	⑤牛窓方面	岡山市・瀬戸内市・ 両備・八晃					
	⑥沖元・平井方面	岡山市・岡電・両備					
	⑦岡南 変更点 支線の運行開始を延期	岡山市・玉野市・					
	⑧妹尾方面	岡山市・ 岡電・下電・八晃					
	⑨庭瀬方面	岡山市・ 岡電・両備・下電・八晃					
	⑩拠点間をつなぐ 支線新設	岡山市・岡電・八晃					
事業2 公共交通 利用環境の改善	ICカードシステム の利便性向上と運営 の効率化	岡山市・事業者					
	わかりやすい 運行情報の提供	岡山市・事業者					
	企画立案等の効率化	岡山市・事業者					
	先進車両・低床車両 等導入	岡山市・事業者					
関連事業	公共交通運転手 の確保支援	岡山市・事業者					